

ブロッコリーの初秋どりにおける品種の特性について

長岡勝己\*・津山勝美

1982～1985年に、ブロッコリーを初秋に収穫することを目標にして、ダークホース、シャスター、東京緑を供試して、7月5日から8月5日まで、おおむね10日間隔に播種して、品種の特性を明らかにした。

1. 全ての供試品種において、播種期を早くすると収穫期は前進するが、異常花蕾が増加した。
2. シャスター、東京緑は、57年のような冷涼な夏には異常花蕾が少なく、58年のような異常高温の夏には異常花蕾が多かった。
3. ダークホース:27°C以上の高温が長期間続くと、花蕾の肥大は遅れた。また、異常花蕾が多かった。しかし、9月上旬に収穫された。異常花蕾の中にはホウ素欠乏によると考えられるものがあった。
4. シャスター:花蕾形成・肥大期の高温によって、異常分化と変質によると考えられる異常花蕾が発生した。

気温の適応性は狭く、播種の早期限界は7月25日頃であり、収穫始めは10月中旬と考えられた。

5. 東京緑:花蕾の肥大には、温度の影響が少なかった。しかし、黄化花蕾が発生した。播種の早期限界は7月20日頃であり、収穫始めは10月中旬と考えられた。